

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2004年11月7日から2004年11月13日の週

目次

週間ハイライト

国際	2
韓国	2
中国	3
台湾	4
香港	4
シンガポール/マレーシア/フィリピン/インドネシア	5
米国 / カナダ	5
欧州	6

この文書は情報提供を目的としており投資助言とは見なされませんし、この文書で言及されている会社の証券の購入や売却を推奨しているとも見なされません。IRG Limited, f/k/a iReality Group Limited, 及びその関係会社はこの文書に記載されている情報の正確性や完全性についていかなる表現も致しません。

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2004年11月7日から2004年11月13日の週

週間ハイライト

国際

インターネット

- 費用が安く機能が充実し固定電話回線から VoIP（インターネット電話）に変更する企業と家庭が増加。日本を除くアジアでの VoIP サービスの売上高は今年には 100 億米ドルになる見込み。

モバイル・無線通信

- 世界の CDMA 利用者数は9月時点で 2 億 2700 万となる。第三四半期だけで 2900 万増加した。アジアでの加入者数は 9600 万、そのうち韓国が 3600 万、中国が 2500 万、日本が 1800 万。

ハードウェア

- 天候予測、ゲノム地図作成、原子爆弾爆発模擬実験に利用されるスーパーコンピューター500 台の分布が発表される。欧州に 127 台、アジアに 87 台、そのうち日本に 30 台、中国に 17 台存在する。

韓国

通信

- ハナロテレコムの第三四半期営業利益は前期比 38.5% 減の 2260 万米ドル。純利益は前期比 98.9% 減の 181,000 米ドル。売上高は前期比 1.3% 減の 3 億 2500 万米ドル。
- KT の第三四半期決算は前年同期の赤字 4 億 5530 万米ドルから黒字転換し 2 億 8000 万米ドルの純利益。売上高は 2.9% 増の 26 億米ドル。営業利益は 4 億 6770 万米ドル。

インターネット

- 情報通信省は 4 社がインターネット電話免許を申請したと発表。業サムスン・ネットワーク、アンユサー・ドット・ネット、グレート・ヒューマン・ソフトウェア、ムーハネットの 4 社。
- シティグループは韓国第三位のブロードバンド・インターネット・プロバイダーの韓国スルーネット争奪に参画。競合相手はデーコムとハナロ・テレコム。スルーネットは業界第三位。

メディア、娯楽、ゲーム

- サムスン電子は欧州のホーム・シアター市場参入のためデンマークのオーディオ・システム・メーカーのバング&オルフセンと提携。サムスンはデジタル光線処理プロジェクターを供給する。

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2004年11月7日から2004年11月13日の週

- **TU メディアは衛星による携帯テレビ・サービス免許を申請。** TU には SK テレコムが 30%、東芝関係の日本のモバイル・ブロードキャスティングも出資している。両社は 3 月に衛星を打ち上げた。

IT

- **韓国政府は5件の IT 案件に 18 億米ドルを投入。** 国家災害管理システムの向上とテレマティックスと言われる自動車情報サービス促進、国家データベース・ネットワーク計画にも投入される。

中国

インターネット

- **ヤフーは 1000 台の検索エンジン・サーバーを設置。** ヤフーの時価総額 450 億米ドルに対して、地元中国企業でNASDAQ 上場のソフ、シナ、ネットイーズ等は時価総額が 10 億米ドル規模。
- **トム・オンラインの第三四半期純利益は前期比 27.6% 減の 720 万米ドル。** 売上高は 1.7% 増の 3130 万米ドル。粗利益率は前年同期の 48%、前期の 51% に対して 43% へと落ち込んだ。
- **簡易メッセージ世界一のイスラエルの ICQ は中国での提携先を選定中。** ICQ の実際の利用者は 50 万。ICQ は 2008 年迄にこれを 800-1400 万に増やす計画。ICQ の市場占有率は現在 8 位で 1.9%。
- **イーベイイーチネット (EE) 最高経営責任者のシャオ・イボは辞任したが取締役会会長の座には止まる。** EE の登録者数は 860 万。2004 年の取引額は 3 億 4000 万米ドルに達する見込み。
- **NC シナのリネアジ II は課金を始め、商業供用開始後 2 時間で 10 万の参加者を集め。** シナのプリペイド・カード販売額は 11 月初め以来 240 万元。NC シナは韓国の NC ソフトとシナの合弁。
- **シートリップの第三四半期売上高は前期比 12% 増、前年同期比 64% 増の 1090 万米ドル。** 営業利益前期比 13% 増、前年同期比 53% 増の 490 万米ドル。純利益は前期比 22% 増の 460 万米ドル。
- **チャイナ・ファイナンス・オンラインの第三四半期決算は売上高が前期比 25% 増、前年同期比 183% 増の 130 万米ドル。** 純利益率は前期の 71%、前年同期の 60% から 77% となった。

モバイル/無線通信

- **中国自前の第三世代携帯電話技術は期待した成果があげられていない。** 政府による第三世代携帯電話運営免許認可は遅れる見込み。中国自前の TD-SCDMA 技術は安定性と信頼性が低い。
- **パームワンは中国の PDA 市場から撤退すると言う噂を否定。** 上海工場は閉鎖され中国のレノボ、ファンダー、台湾のエーサーとの提携は解消したと中国では報道されていた。
- **アルカテル上海ベル (ASB) とダタン・モバイルは TD-SCDMA 標準の国内外での開発で戦略的提**

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2004年11月7日から2004年11月13日の週

携に合意。 ASB はダタンに対して 3240 万米ドル投資する。TD-SCDMA は世界 3 標準の一つ。

メディア、娯楽、ゲーム

- 中国のMP3プレーヤー市場は拡大中。**今年は1000万台程度のMP3プレーヤーが販売される見込み。前年比250%増となる。世界のMP3プレーヤー売上高見込みは前年比25%増の5000万台。
- オンライン・ゲーム運営業者のシャンダの第三四半期決算は売上高が前年同期比133%増、前期比23%増の4490万米ドル。**純利益は2000万米ドルだった。
- 米国のワーナー・ブラザーズは中国国営のチャイナ・フィルムと民間企業のヘンディアンと映画製作で合弁事業を設立。**ワーナーが30%、チャイナ・フィルムが40%出資する。

ソフトウェア

- レッド・ハットは中国初の事務所を北京に開設。**IBM、ヒューレット・パッカード、インテル、デル、オラクルと協力する。レッド・ハットは日本、韓国、香港、シンガポール等に事務所を持つ。

通信

- チャイナ・ネットコムは香港とニューヨークへの重複上場で11億米ドルを資金調達。**今年香港で3番目に大きい新規株式公開となる。香港上場20株が1ADRに相当する。
- チャイナ・テレコムは新規IPネットワーク用のサービス・ルーターをシスコから調達。**このネットワークは中国の200都市以上を結び全国で法人顧客用に特別サービスを供給する。

台湾

通信

- チュンファ・テレコムの10月迄における10ヶ月間の純利益は13億米ドルで年間目標の12億米ドルを上回る。**売上高は前期比2.1%増の46億米ドルだった。
- ドイツのインフィネオンは以前の台湾の提携先であるプロモス・テレノロジーとの技術供与問題を解決。**DRAM技術利用権と引き換えにプロモスは2006年4月迄に1億5600万米ドル支払う。
- 台湾・セミコンダクター・マニュファクチャリング(TSMC)の10月の売上高は前月比0.9%減の6億9800万米ドル。**10月迄10ヶ月間の売上高は30.8%増の65億米ドル。

香港

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2004年11月7日から2004年11月13日の週

モバイル/無線通信

- **ハチソン・テレコミュニケーションズは雇用と賃金の削減を検討中と報道され株価は新規公開価格を初めて上回って取引を終えた。**会社側は噂を否定したが業務見直しを行っていると言明した。
- **12月に第三世代携帯電話サービスを開始するスマートーンはサンヨーから特注の第三世代用携帯電話の供給を受ける。**スマートーンは2.5世代携帯電話についてシャープから供給を受けている。

インターネット

- **香港は迷惑メールを違法化しないと大きな損失になる。**ビジネスマン、業界関係者と消費者団体は香港が迷惑メール規制で、欧州、米国、日本、シンガポール等に遅れていると述べている。

シンガポール/マレーシア/フィリピン/インドネシア

モバイル/無線通信

- **シンガポール・テレコムは1億1800万米ドルを投資しフィリピンのグローブ・テレコムに対する投資比率を40%から45%に上げる。**アヤラから株式を購入する。アヤラの持ち株比率は35%となる。

IT

- **米国のサイバーネットはフィリピンのアヤラと合弁でIT外部委託サービスを世界的に展開。**サイバーネットがアヤラポートに60%出資しCNGグローバル・データ・ハブを設立する。

米国/カナダ

インターネット

- **マイクロソフトは独自のウェブ検索技術を発売。**グーグルに挑戦する。マイクロソフトの検索エンジンは11ヶ国語で当初は試験的に利用できる。MSN用の検索エンジンはヤフーが供給していた。
- **イーベイはオランダのマルクプラーツを買収。**買収金額は2億9000万米ドル。オランダの消費者向け電子商取引市場は拡大中で2007年に250億米ドルになると見られる。
- **グーグルの株価は200米ドルを超えたものの株式分割は行わない見込み。**米国の企業は株価が100米ドルを超えると株式分割をする場合が多い。
- **アメリカ・オンラインはオービック、エクスペディア、トラベロシティから顧客を獲得するため投資をする予定。**同種の業務を行うためカヤック・ソフトウェアに資本参加する。

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2004年11月7日から2004年11月13日の週

ソフトウェア

- オラクルのピープルソフトに対する 88 億米ドルの敵対的買収提案がどうなるかは不透明。オラクルは一株当たりの買収価格を 21 から 24 米ドルに上げたがピープルソフトは拒絶した。
- マイクロソフトは 644 億米ドルの手元流動性を株主還元するため 3 米ドルの特別配当を実施。

ハードウェア

- デルの 10 月 29 日迄の第三四半期における純利益は前年同期比 25% 増の 8 億 4600 万米ドル。売上高は 125 億米ドルだった。第四四半期の売上高見込みは 135 億米ドル。

欧州

モバイル/無線通信

- ポーダフォンは第三世代携帯電話サービスを開始。欧州 12 カ国と日本で利用できる。携帯電話の供給はシャープ、モトローラ、ソニー・エリクソン、NEC、ノキア及びサムスン。

ソフトウェア

- EU はマイクロソフトに対して独占禁止法違反を適用する意向。マイクロソフトはノベルに対して 5 億 3600 万米ドルを支払うことになっているが、EU は独占状態に代わりは無いと判断した。

通信

- ドイチュ・テレコムは 2 年振りに復配の予定。一株当たり配当金額は 79 米セント。会社側は今年の純利益予測を従来の 32 億米ドルから 41 億米ドルに上方修正した。